



いまだきお笑い (Rahmens) 事情



いまだき、かどうかはわからないけど、ラーメンズを我が家に連れてきたのは就活に忙しいはずの大学四年になる（とてもそうは見えない）ひとり息子でした。

テレビなんぞを見ているとまたお笑いブームが来てるのかななんて思うほどお笑い番組は多くなった。若手お笑い芸人もどんどん出てきているし、中堅どこもがんばってるじゃんって感じである。くり～むしちゆうが面白い。インパルズの板倉が好き、なんて言っていた頃に、ラーメンズが我が家に入り込んできた。

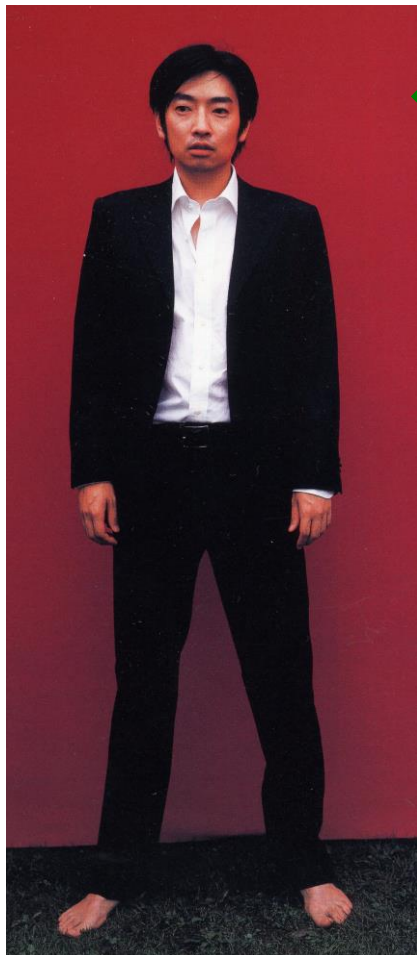
ラーメンズが有名なのか有名でないのか、その知名度は実際のところわからない。テレビにはどうやらほとんど出ず、活動の本拠地を小さな劇場のいたってシンプルな舞台においている。お笑いではなく演劇人なのかもしれない。そのスタンスもまた魅力的。

うさおなんかすっげえすっげえを毎日連発してる。

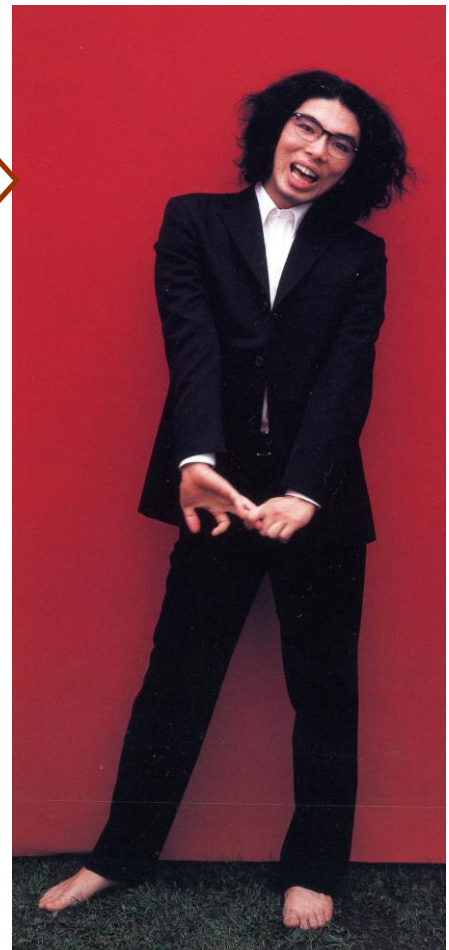
あ～っ、おまえ～ラーメンズ知らねえの～あつげえ面白いだからあ～

とラーメンズワールドにどっぷり浸かった会話しかできない人間に変化している・・・
なんて書くと言葉遣いが汚いように受け取られかねないが、かれらは日本語を足したり引いたり、壊したり再構築したりと変幻自在に操ってみせる。

言葉遊びがとっても好きなラーメンズ！！



- | | |
|-----------|------|
| 頭脳 | 体力 |
| 作り手 | 演じ手 |
| 小賢しい | まっ正直 |
| 演技 | 素 |
| 入り口 | 出口 |
| 孤立 | 共感 |
| I m a g e | |
| 四角 | 楕円 |
| 緻密 | 曖昧 |
| 疑う | 信じる |
| わがまま | 協調 |
| 騙す | 騙される |



こんなイメージを並べると小林賢太郎はまるで悪人みたいだ。そんなことは全くない。相方に「そんなにイノセントな目でみるんじゃねえ～よ～」と赤面させるほどの無垢な演技はたまらない魅力だ。あれ？演技か？例えば恋人と仕事とどちらを取るかと言われたら片桐仁は迷わず恋人を取るが、小林賢太郎は迷って仕事を取るような・・・あれ？

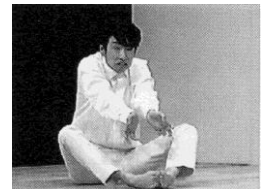
🐰 知的な男ってのは、冷たく見えるのよ。うさおと同じさ。ふん。

無視。

ラーメンズは二人組だがいわゆるボケと突っ込みに分かれているわけではない。お互いの演じるキャラクターを交換してもひずみはなさそうだ。それなのに前記のようなイメージが生まれてくるのは、キャラクターを通してどうしても「自分」が出てきてしまうということなのかな。今まで作られたラーメンズの100を超えるコントの中で、大雑把に言えば200人のキャラクターが生きていることになる。

【ネイノーさん】

「そうじゃねいのお～」を必ず語尾につけて話し、ちょっと目を離すとすぐ違う世界に行ってしまうネイノーさん。世の中にとっても受け入れられそうもないネイノーさん。そんなかれを暖かく見守る友人を片桐仁が素のように演じる。



【ドーデスという男】

ドーデス？のひと言しか話さない男ドーデス。相手が「どうです？」と言うとめちゃくちゃ怒るドーデス。でもそれ以外は限りなくいい人。引き換えドーデスの唯一の友人は彼を裏切ってるらしい。ちょっと悲しいがここが小林賢太郎と片桐仁のキャラの差かも。

【怪傑ギリジン】

ギリギリギリギリジンジン♪とテーマ曲を持つギリジン。片桐仁のはまりキャラ。ラーメンズは創作でたらめ歌がすごくいい！！いやでたらめじゃなくて計算しつくされてるんだけど。



🐰 ♪ギリギリギリジンジン♪ギリギリギリジンジン♪



【釣りの朝】

ふたりはすっごく仲よしだなーとうれしくなる。恥ずかしそうにベッドに誘う小林賢太郎がとってもかわいい。こういうかわいさに騙される。あ、ラーメンズは全然Hじゃないです。清廉潔白です！

【蒲田の行進曲】

なんとって豚と神様ゲームがおかしい（大笑）。舞台映えする大作。桜吹雪の中、大口を開け微動だにしない銀ちゃん役の片桐仁は圧巻。

🐰 銀ちゃん!かっこいいー!



【ATOMより】

まるで恋人同士みたいなふたり。めいっばい愛を表現する片桐に最終的に答える小林の誠実さがいい。でもオチはクールでせつない・・・。



🐰 Cacco隊員は一見誠実そうで究極のわがまま冷淡男が好きだからな～ 人を見る目養えよ。



【新嘶】

いかにも落語が好きそうな小林賢太郎。一人二役が二人四役に二人六役に・・・ひとりなのかふたりなのか大勢なのか。扇子なのかてぬぐいなのかお箸なのか手紙なのか・・・。

🐰 ひとじゃーん。扇子じゃーん。なっとなっとなっ。

【マーチンとプーチン】

ほんとにめっちゃめっちゃすっごくかわいい！！

🐰 やあマーチン、やあ牛くん、やあプーチン、やあ蛙くん。

なんかごちゃごちゃになってる人が約1名だね(^^) まっいつか。



小林賢太郎が読書好きの本領を発揮「シリーズ読書対決」 タイトルを聞いただけで哲学的雰囲気
が漂う「無用途人間」「わたしの言葉がみえますか」「心の中の男」 究極の言葉遊び、二度と使えな
いネタ「ドラマチックカウント」 よくもこんな歌が歌えると感心しきり「音遊」「縄跳び部」 名前だ
けで遊ぶ「高橋」 地名で遊ぶ「日本語学校アメリカン」 ラーメンズの優しさが滲み出る「悪魔が
来たりてなんかいう」などなど。全部説明したくなってしまう（笑）。

1973年11月27日	生年月日	1973年4月17日
176cm	身長	182cm
62kg	体重	70kg
多摩美術大学卒業	学歴	多摩美術大学卒業
彫刻家	副業	漫画家



次回公演はぜひぜひみんなで見に行こう。
またまた若い子たちに混ざろうぜい。

🐰 まっ、いいでねいの～。ラーメンズ好きだし。

なっとなっとなっ。

